

## 2014年立教大学現代心理学部心理学研究倫理審査委員会審査報告

立教大学現代心理学部心理学研究倫理審査委員会

立教大学現代心理学部では、人間を対象とする心理学研究が倫理的配慮のもとに実施されるために、立教大学現代心理学部心理学研究倫理審査委員会規程に基づき審査を行った。2014年1月～12月の間に立教大学現代心理学部心理学研究倫理審査委員会において承認された研究（心理学専攻）は、下記の9件である。

申請者：心理学専攻博士課程前期課程1年次 赤木 真弓  
研究課題：大学生のアイデンティティ形成過程における母親の影響

申請者：心理学専攻博士課程後期課程3年次 大嶋 玲未  
研究課題：セルフ・モニタリングと組織内政治の知覚、政治スキルの関連性

申請者：心理学専攻博士課程後期課程2年次 千葉 元気  
研究課題：知覚的意思決定課題における文脈効果の生起プロセスに関する実験的検討

申請者：心理学専攻博士課程後期課程1年次 相馬 正史  
研究課題：感情価と覚醒度からなる感情状態が道徳ジレンマ場面で道徳判断に及ぼす影響

申請者：心理学専攻博士課程前期課程2年次 赤木 真弓  
研究課題：大学生のアイデンティティ形成過程における母親の影響

申請者：心理学専攻博士課程後期課程3年次 大嶋 玲未  
研究課題：大学生の組織社会化レディネスの規定要因の検討

申請者：心理学専攻博士課程後期課程2年次 廣川 佳子  
研究課題：経営理念の浸透が組織成員に及ぼす影響1

申請者：心理学専攻博士課程後期課程2年次 廣川 佳子  
研究課題：経営理念の浸透が組織成員に及ぼす影響2

申請者：心理学専攻博士課程前期課程1年次 佐藤 秀香  
研究課題：歩行中の携帯電話使用に影響を及ぼす要因の検討

以上

委員会構成メンバー

林もも子（委員長）、日高聡太、空閑厚樹、松永美希、都築誉史